

科目名 クラス名	経営戦略論		
科目名（英語）	経営戦略論		
担当教員名	見吉 英彦		
ナンバリング	SAh3003		
学科	2020～2024年度 大学 教育人文学部 幼児教育学科 2年／2020～2024年度 大学 教育人文学部 児童教育学科 2年／2020～2024年度 大学 教育人文学部 心理学科 2年／2024年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 介護コース 2年／2020～2023年度 大学 人間生活学部 健康栄養学科 2年／2024年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 こどもコース 2年／2020～2024年度 大学 人間生活学部 食物栄養学科 2年／2020～2024年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 芸術・文化コース 2年／2020～2023年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 社福・介護コース 2年／2020～2024年度 大学 人間生活学部 食品開発学科 2年／2020～2024年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 多文化・共生コース 2年／2020～2023年度 大学 人間生活学部 人間福祉学科 社福・保育コース 2年／2020～2024年度 大学 教育人文学部 文芸文化学科 日本語・日文コース 2年／2020～2023年度 大学 社情デザイン学部 社情デザイン学科 2年		
学年	2年	開講期	2024年度前期
授業形態	講義	単位数	2単位
遠隔授業対象科目			
振替元科目			

実務経験の有無	無
実務経験および科目との関連性	無

ねらい			
①科目の性格	本科目は、社会情報デザイン学科専門科目「領域科目群・ビジネス領域」に該当する卒業要件選択科目である。		
②科目の概要	経営戦略における基本的な考え方、重要な理論やフレームワークについて学修すると共に、フレームワークを用いたグループワークを行う。		
③授業の方法（ALを含む）	本科目では、講義による解説を中心として、課題レポートや事例に基づいたディスカッションやグループワークを取り入れた授業を行う。なお、教材や課題は、ポータルサイトで提示する。	リアクションペーパー／レポート／グループワーク／ディスカッション／ケースメソッド	
④到達目標	1：経営戦略論の基本概念について説明することができる。 2：経営戦略の策定に用いるフレームワークについて理解し、それらを用いて分析することができる。 3：グループワークやディスカッションを通じて、物事を多面的にかつ論理的に考察し、表現できる。		
⑤ディプロマ・ポリシーとの関係（右の資質・能力を育成することを目的とする）	SA①-3;マネジメントの基礎的知識の修得、SA①-4;多様な社会的ニーズの理解する力の修得		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
基礎からの経営戦略論	見吉 英彦	株式会社みらい	978-4-86015-614-5	
推薦書・参考文献				

履修上の助言、教員からのメッセージ	教科書は購入してください。
-------------------	---------------

第1回			
事前学習	授業計画で示された用語に関して各自で調べ、内容を整理しまとめておく。		90分
授業内容	経営戦略とは（戦略の定義、戦略の要素）		
事後学習・次回事前学習	（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。		180分

第 2 回		
授業内容	外部環境と内部環境（PEST分析、3C/4C分析、SWOT分析）	
事後学習・次回事前学習	（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第 3 回		
授業内容	業界構造分析（業界構造と利益率、5フォース分析）	
事後学習・次回事前学習	（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第 4 回		
授業内容	3つの基本戦略（コストリーダーシップ戦略、差別化戦略、集中化戦略）	
事後学習・次回事前学習	（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第 5 回		
授業内容	ケース分析①-業界構造分析【ケースメソッド】	
事後学習・次回事前学習	（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第 6 回		
授業内容	リソース・ベースド・ビュー（VRIO分析、コア・コンピタンス）	
事後学習・次回事前学習	（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第 7 回		
授業内容	ビジネスシステムの重要性（ビジネスモデルとビジネスシステム）	
事後学習・次回事前学習	（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第 8 回		
授業内容	全社戦略と製品ライフサイクル（導入期、成長期、成熟期、衰退期の戦略）	
事後学習・次回事前学習	（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第 9 回		
授業内容	多角化（多角化とシナジー効果）	
事後学習・次回事前学習	（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第 1 0 回		
授業内容	ケース分析②-ビジネスシステム分析【グループワーク】【ディスカッション】【ケースメソッド】	
事後学習・次回事前学習	（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第 1 1 回		
授業内容	リストラクチャリング（PPMの枠組みと戦略的意義）	
事後学習・次回事前学習	（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第 1 2 回		

授業内容		M&A（M&Aとは、メリットとデメリット）	
事後学習・次回事前学習		（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第 1 3 回			
授業内容		イノベーション戦略（イノベーションとは、オープン・イノベーション）	
事後学習・次回事前学習		（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）該当する教科書の章、または参考資料を読み、内容を整理しまとめておく。	180分
第 1 4 回			
授業内容		ケース分析③-経営者の意思決定【グループワーク】【ディスカッション】【ケースメソッド】	
事後学習・次回事前学習		（事後学習）ポータルサイトに提示した課題レポートを作成する。 （次回事前学習）1～14回までに学んだ内容を復習し、理解できている点と理解できていない点を明らかにしておく。	180分
第 1 5 回			
授業内容		まとめ	
事後学習		授業の総まとめの内容を、A4用紙2枚にまとめておく。	90分

フィードバック	毎回の授業の最初に前回授業の質疑に返答し、学修の理解を深められるようにする。また、課題レポートに関しては、次回以降の授業時に解説・総評を行う。
評価方法および評価の基準	授業内でのディスカッション（30％）ならびに課題レポート（70％）で評価し、60点以上を合格とする 1：経営戦略論の基本概念について説明することができる。 （授業内ディスカッション：5％/30％　レポート：40％/70％） 2：経営戦略の策定に用いるフレームワークについて理解し、それらを用いて分析することができる。 （授業内ディスカッション：10％/30％　レポート：30％/70％） 3：グループワークやディスカッションを通じて、物事を多面的にかつ論理的に考察し、表現できる。 （授業内ディスカッション：15％/30％）

ループリック		評価基準				
DP	評価項目	【S】到達目標以上に達している	【A】到達目標を十分に達成できている	【B】到達目標を達成できている（到達目標）	【C】到達目標を最低限度は達成できている	評価方法
マネジメントの基礎的知識の修得	経営戦略に関する理解度(50%)	経営戦略に関する知識を習得し、企業における事例に対しても詳細に説明できる。	経営戦略に関する知識を習得し、詳細に説明できる。	経営戦略に関する知識を習得し、説明できる。	経営戦略に関する知識を習得し、部分的に説明できる。	（授業内ディスカッション：15％　レポート：35％）
多様な社会的ニーズの理解する力の修得	フレームワークを用いた分析(50%)	授業で学んだフレームワークを用いて企業に対する分析ができ、分析結果に対して考察と新たな戦略の提案ができる。	授業で学んだフレームワークを用いて企業に対する分析ができ、分析結果に対する考察ができる。	授業で学んだフレームワークを用いて企業に対する分析ができる。	授業で学んだフレームワークを用いて企業に対する分析が部分的にできる。	（授業内ディスカッション：15％　レポート：35％）